

## 英語

### I

#### ■出題のねらい

日常的な会話の内容を正確に理解する力を問う問題です。2人のやりとりを見失わないようにしながら、細かい情報を読み取らなければなりません。Sarahはホットドックを電話で注文しますが、ホットドックはどんな種類があるのでしょうか、また配達方法や支払方法はどれを選ぶのでしょうか。注意深く読んで正確に把握できるかどうかポイントです。

#### ■採点講評

身近な話題だったからか、正答率はまざまざでした。ただ、英問英答問題では同じ内容が本文とは違った単語を用いて言い換えられますから、語彙力がものを言います。新しい単語に出会ったら、その単語の意味だけではなく同意語も一緒に覚えるようにしましょう。そうすることで語彙力も飛躍的にアップしますから、ぜひ心がけるようにしてください。

### II

#### ■出題のねらい

船でのツアー案内を読み、ポイントとなる情報を的確に読み取る力を問う問題です。船が2隻、ツアーが2種類あります。それぞれの特徴を確認しながら、情報の多さに惑わされずに必要な情報を素早く見つけ出せるかどうか問われています。

#### ■採点講評

8 と 10 の正答率が思わしくありませんでした。8 では“both”や“neither”に惑わされてしまった受験生が少なくなかったようです。特に“neither”の使い方に慣れていない受験生は、ぜひ復習しておきましょう。また10の正答は③ですが、②を選んでしまった受験生も多かったようです。本文の“shower”は「シャワー」ではなく、「にわか雨」の意味で使われています。このようにさまざまな意味を持つ「多義語」も読解問題においては重要なポイントとなります。簡単な単語ほど丁寧に復習しておきましょう。

### III

#### ■出題のねらい

英語の基本構文・基本熟語の知識を問う問題です。構文や熟語の知識は、英文法の知識とも関連し、英文読解の基礎でもあります。「なんとなく」ではなく、自信をもって正答を選ぶことができるかどうかを問われています。

#### ■採点講評

11 の正答は③ですが、①や⑤を選んでしまった受験生が多かったようです。命令・提案・要求などを表す動詞に続く that 節の中では、動詞は常に「原型」になります。ぜひ確認しておきましょう。11 では、that 節内の主語が“his name”ですから受動態である必要があります。14 の正答は①ですが、③や④を選んだ受験生が多かったです。“as far as”と“as long as”はどちらも「～する限り」と訳されるため混同されがちですが、“as far as ~ is concerned”は「～に関する限り、～について言えば」という意味で定着しています。こういった混同しやすい構文や熟語については、演習問題を繰り返しこなすことで曖昧な部分を残さないようにしておきましょう。

### IV

#### ■出題のねらい

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、自宅で過ごす時間が長くなり、釣りや魚料理にチャレンジする人が増えたことについての英文記事です。文章をよく読み、その背景や問題点、今後の課題について正確に読みとることができるかどうかを問うています。全体の大まかな意味をざっととらえ、個々の問題で問われる情報を短い時間で正確に見つけ出す力も大切ですが、表面的な理解だけでは正答にたどりつけない問題も織り交ぜています。難易度の高い単語の意味も、文脈をしっかり読み込むことによって推測できるはずですが、論理的な考察力も重要なポイントです。

#### ■採点講評

身近な話題だったからか、全体としての正答率はままずままずでした。ただ 21 のように、単なる熟語問題ではなく細部まできちんと文脈を理解しなければならない問題は、正答率が30パーセント未満と低かったです。また 26 の正答は④ですが、間違えて③を選んでしまった受験生が少なくありませんでした。問題となっている箇所は単語も難しくありません。だからこそ読解力が試されると言ってもいいでしょう。代名詞が指し示しているのは何なのか、普段から考えながら英文を読み進めるように心がけましょう。

## V

### ■出題のねらい

古代の中東における数字の成り立ちに関する英文です。古代の人々がどのように収穫物の貯蔵を判別したのか、またそこからどのように数字の概念が生まれたのかが、具体例とともに時系列に述べられています。並べ替え問題は文法はもちろんのこと、文脈を理解して合理的にどのような内容が導かれるのかを予想して回答する必要があります。

### ■採点講評

29 ~ 31 は、どれも正答率50%以上でよくできていました。正しく並べかえると次のようになります。

29 tokens that represented wheat

30 without breaking the clay envelope

31 All the required information was

最後の問題 32 の正答は②ですが、間違っ③を選んだ受験生が多かったようです。穀物の保存方法から数字の歴史を考えるという視点にとまどった受験生が多かったのかもしれませんが。